

## 立川市公共施設あり方方針（案）への意見募集について

### 1 意見募集の結果

3名 5件 <内訳>

区 分	種 別				合 計
	郵 送	メー ル	ファクス	来 所	
提出者数	0	3	0	0	3
件 数	0	5	0	0	5

### 2 市民から寄せられた意見等の総数《あり方方針（案）の項目別》

分 野	件 数
方針案全体	2
第1章 立川市の現状等	0
第2章 あり方検討の必要性	0
第3章 公共施設あり方方針	3
第4章 検討の進め方	0
合 計	5

※複数分野にかかわる意見は方針案全体へのご意見として分類しております。

### 3 意見内容とその対応

対 応 区 分	件 数
A ご意見等に基づき、あり方方針(案)を加筆または修正いたしました。	0
B ご意見等については、あり方方針(案)に反映されていると考えています。	1
C あり方方針に関するご意見等にお答えします。	3
D あり方方針以外についてのご意見、ご提案としてお聞きします。	1
合 計	5

整理番号	枝番	提出種別	意見内容（要旨）	分野	対応区分	市の考え方
1	1	メール	<p>「はじめに」で公共施設の置かれている状況を述べており、一般論として「問題の提起」として理解できますがいくつかの点で、「スリム化」への恣意的な誘導が窺われます。</p> <p>例えば、人口ピーク時の公共施設を前提に人口が減ってくればスリム化は当然と言わんばかりの考えが見え隠れしているが、その前にピーク時の公共施設の在り方を無条件に前提としていかどうか。住民サービスを考えれば、人口が減った状況で、ようやく求めていたサービスを楽しむことができる、といったものも考えられ、そういう検証をもっと住民の声を聞いて丁寧にやるべきではないか。その点で市民一人当たりの床面積を対比しているが、これは単なる「参考」程度でもう少し踏み込んだ「公共施設利用」を比較するのにそぐわないのでは。</p> <p>学校施設の場合、すぐ統合といった話がでてくるが、その前に少人数学校にするとか、先生の負担を軽くするいいチャンスとの見方が検討されるべきではないか、など。財政の問題でも、本来は単年度の全体的な予算の中でその都度そのときの状況をみて決めていくべきもの。はじめからスリム化やむなしとの長期計画でスリム化を認めさせるのは一方的ではないか。</p>	はじめに・第3章	C	本市では、公共施設で行われているサービスはできる限り維持するように考えております。今後の公共施設のスリム化の検討の進め方は、公共施設保全計画で見込まれている平成46年度～65年度の公共施設にかかる費用を鑑み、地域の特性や人口特性に応じて取り組んでまいります。また、今後も市民の皆さまへの説明や意見募集を行いながら進めてまいります。
	2		<p>「民間手法の導入」も、もともと公共施設は住民の福祉増進が目的であることを考えれば、「市民サービス」を犠牲にした「効率的な運営」はいかがかと思われまます。</p> <p>最近の行政の運営は、民間手法取り入れが目につき、自治法の基づく「住民福祉増進」が本来の目的が後景に追いやられているように見えます。要は、「住民福祉増進」を中心に据えた、この点からの方針の策定を検討していただきたいのです。</p>	第3章	C	市はこれまで、民間団体を指定し公共施設の施設管理を行わせる指定管理者制度や、民間団体の資金や技術力を活用し施設整備を行うPFIの手法を用いて、利用者サービスの向上と効果的、効率的な運営を行ってきました。今後も、民間団体の資金やノウハウ等、民間活力の活用も含めて、様々な手法を活用しながら住民福祉の増進に取り組んでまいります。
2	1	ホームページ	<p>建物の費用対効果、ランニングコスト削減等の意味合いからスリム化を図るという表現は、無駄な空間を削減するという意味合いがあると理解する。建替えを図る前にその建物は立川市の中期的な政策方針の中で、人口動態に応じた物理的な縮小を図ることを施策とした受け止め方ではなく、短期的な処方箋で対処するのであれば、何年後に採算がとれるのか、損益分岐年は何年後か知りたい。</p>	第3章	C	<p>公共施設のスリム化を進めることは、原則として新たな施設を建てるのではなく、今ある施設を長寿命化して初期投資額を抑えるとともに、一つの建物で機能を最大限に活用できるようにすることで、施設数や面積が減ったとしても機能は維持していくことを考えております。その際、人口動態や財政状況、公共施設に対する時代のニーズを踏まえ、中長期的な視点で検討してまいります。</p> <p>また、採算性をとることを主目的とせず、サービスの質を落とすことなく費用削減ができないかといった経営的な視点で行政サービスの維持・向上を図りたいと考えております。</p>

整理番号	枝番	提出種別	意見内容（要旨）	分野	対応区分	市の考え方
2	2	ホームページ	<p>再編、転換は立川市民の民意としてコンセンサスをとりやすい施策かもしれないが、もう少し俯瞰的に見て、バックキャスト的な社会課題の取り組みであるべき。つまり再編、転換の暁には、この立川市の中で有効な役割や機能を持っているか否かが問われるとまた再編転換の繰り返しではないだろうか？</p> <p>市民生活の活性化に関わる重大な課題と思う。最近ハイコンプレックスビルディングなる考え方が芽生えてきている。市民の日常、非日常行動の中で、その建物が特化するとその役割時間以外は誰も来ない空間になる。建物の稼働時間率、空間利用率を上げる為に、児童人口増減に応じてビル内に保育園や小学校を開校。</p> <p>時代時代に適した学校の床面積を変えることで空いた空間をSOHOの為に安い事務所をつくり、高齢者や退職者の起業家応援を支援できるようにすることや、1、2階を吹抜けにして、道の駅のミニ版「街の駅」でその地域の特産物の販売会を常設したり、劇場化させてコンサートやシンポジウム化できる特設会場にしたりできるようにする。つまり、その地域市民の生活動線の活性化ができる建物に、考え方や方針やビジョンを明確にしないと立川市のミライに夢がないとなってしまふ。</p>	第3章	B	多様な世代の人が集まることができ、地域の活性化や世代を超えた交流を生み出すような地域の核となる施設を意識しながら、地域特性・人口特性に応じた機能の再配置の視点で、公共施設の再編に取り組みます。
3	1	ホームページ	<p>合同庁舎周辺および開発地区周辺において移動販売車のお弁当販売を行い、地域住民のかたをはじめ、オフィスで働く方の需要を満たし、またスペースの賑わいから立川市への興味関心をより一層集め人口を増やすことが出来ると考えております。</p> <p>また、お弁当販売から得る収益を老朽化にある施設の改修立て替えの費用の一部にできると考えます。</p>	第1章 第3章	D	貴重なご意見ありがとうございます。今後も、スリム化した空きスペースの活用方法を検討してまいります。